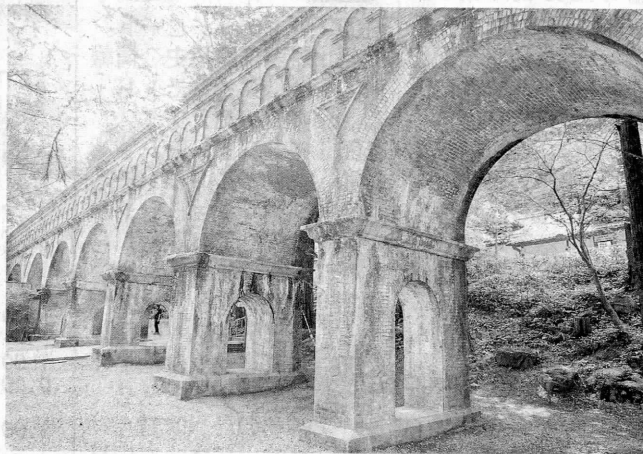


「琵琶湖疏水」国宝に

文化審議会（島谷弘幸会長）は16日、琵琶湖の水を京都市内に運ぶ「琵琶湖疏水施設」（大津市、京都市）の一部を国宝に、1970年大阪万博のシンボルとして親しまれている「太陽の塔」（大阪府吹田市）など8件を重要文化財に新たに指定するよう、文部科学相に答申した。近く答申通り告示され、重文の建造



琵琶湖疏水施設の南禅寺水路閣（文化庁提供）

「太陽の塔」は重要文化財に 文化審議会が答申

文化審議会は、琵琶湖疏水施設のうち、国宝指定を答申したのは南禅寺水路閣など5カ所。蹴上発電所旧本館など19カ所についても併せて重文指定を答申した。明治中期の土木技術の粋を集めて建設され、舟運やかんがい、発電、水道といった多岐にわたる機能



太陽の塔（大阪府提供）

を持つ。近代の土木構造物として初の国宝となる。
太陽の塔は、大阪万博のテーマ「人類の進歩と調和」を表現するパビリオン。芸術家岡本太郎のデザインを忠実に具現化するため、当時最先端の技術を結集して建設された。高度経済成長期の日本を象徴した大阪万博の貴重なレガシー（遺産）とされる。

答申された国宝と重文

文化審議会の新指定答申は次の通り。

【国宝】琵琶湖疏水施設（大津市、京都市）【重要文化財】スカイハウス（東京都文京区）▽旧京藤家住宅（福井県南越前町）▽建中寺本堂（名古屋市中区）▽建中寺徳川家御霊屋（同市）▽旧今井野木場施設（愛知県豊田市）▽琵琶湖疏水施設（大津市、京都市）▽旧下村家住宅洋館（京都市）▽太陽の塔（大阪府吹田市）